

花やん・オ・君・モリ博士・フツ博士のかかくド探検ててくら

国立市立国立第七小学校

平成29年4月27日 NO.12 (412)

ママ下湧水・矢川自然探検教室の感想文特集 その2

☆エビをかんさつしました。いろや大きさがえちがうエビがたくさんいてびっくりしました。のびるをとっておうちでたべました。シャキシャキしておいしかったです。みずがつめたくて、きもちよかったです。じぶんでエビがとれてうれしかったです。

(I)

☆身近なところで、豊かな湧き水にふれ、すばらしい環境をどのように守ってゆくのか考えるきっかけとなりました。

(I)

☆ぬまえび3びき、かげろう、やごのようちゅうをつかまえました。

(M)

☆校長先生を始め引率して頂いた方々、ありがとうございます。息子も大変喜んでいました。自分も七小出身者ですが、こういう事はありませんでした。仕事柄車の移動ばかりですので、「ママ下湧水」は聞いた事がありますが、実際に歩いた事はないので、なんか新鮮な気持ちでした。ビシャビシャになりながらエビを取ったり、何かの幼虫を捕まえたり一生懸命でした。観察と言うよりも捕まえる方が忙しかったように思います。見ていると楽しそうで次回はやろうと思いました。親子で自然に触れある機会があまりないと、こういうイベントは大事だと思うので、引率される方々は大変かもしれませんが、今後も続けていってほしいものです。次回も参加したいと思いますので、今後とも宜しくお願ひします。

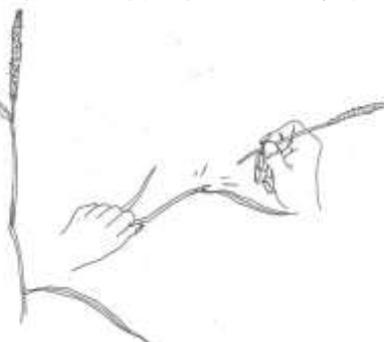
(M)

☆自然探検教室に参加して、思い出したことがあります。セヴァンの伝説のスピーチ。『どうやって直すのかわからないものを、こわしつづけるのはもうやめてください。』まもなく、ここも住宅地になってしまうかもしれない…と大谷さん。子どもたちの未来に、この自然を残してあげたいとママ下湧水の森を見ながら熱く語っていただきました。子どもたちにこの自然を感じてもらいたい。ネットや本で調べていくら知っているつもりになっていても、実際に自分で体感してみないと、湧き水が年中一定であることはわからない。そのおかげで、貴重な動植物の保存の場になっていることを知ることはできないと。校長先生と古田先生には、植物や生き物の名前、捕まえた、草笛の吹き方、ノビル採り、茎の形の理由にいたるまで様々なことを教えていただきました。校長先生も同じように、



草笛のポイント

スズメノテッポウの草笛は、鳴るものと鳴らないものもあるので、ともかくたくさんチャレンジすることが大事です。



『子どもたちは植物や生き物を実際に見て、触って見ないとわからないですよ。』とおっしゃっていました。今日、子どもたちも私も、生き物を探すこととノビル採りに夢中になりました。いつまでも、当たり前のようにこの自然の中で、動植物と出会うことを楽しめる環境を、一度壊すと直すことができないこの自然に改めて感謝し、色々なことを考えさせられた1日になりました。お忙しい中、大勢の子どもたちと同行して下さった先生方、大谷さん、育成会の方、貴重な機会をありがとうございました。

(O)

☆のびるをとるのがさいしょはむずかしいけど、れんしゅうするとじょうずになりました。

(I)

☆親子で初めてノビルとりをしました。根元の球根にふくらんだ部分が食べられるのですが、思ったより深くうまっていて、途中で千切れてしまいます。上手に引き抜くことができるとう宝を手に入れた気分です。家で冷や奴の薬味にさせていただきました。ママ下・矢川で出会ったたくさんの生き物、水の美しさ、地域の方と過ごすくつろいだ雰囲気と楽しい時間を忘れずに育って欲しいです。

(I)

☆4月23日に2回目の矢川たんけんに行きました。私の学年で行ったことはあるけど、みんなで行くのは初めてだったのできんちょうしました。私たち(5年生女子)は、魚を取るのが楽しみでバシャバシャ川に入っていったけどおうちの方たちは、「わー！久しぶりに矢川きたね！」「この草見たことあるよ！」など、すごくもり上がっていて楽しそうだったので、私も「ちょっとまって」といってお母さんたちの所に行くと、今度はみんなで「のびる」をとっていました。私もとろうとしたら、友達に、「おーい！しおり、いつまで待たせてんの。」と言われしかたなく帰って魚を集めまくりました。それから30分がすぎ、私の友達の1人が「アーもう疲れた…。のびるとりやろう！」と言って、のびるの所に行ってしまった。すると、もう1人の友達が、「あーもう！なんで行っちゃうのかな？まあいいや。しおり、もう1回あっち行こう。」と言うのでわたしは、「ちょっとやってみようよ！」といいました。けれど、「のびるなんかだん地でとれるじゃん！だからいや！」と言って行かないので、「大きさもたぶんちがうから行こう！」と言うと、やっと「いいよ」と言ってくれてのびるほりを始めると、「うわー！何これ大きい！」「ポンポンぬけるんですけどー！」と1番はしゃいでいました。本当にのびるは2つ3つついている物もあれば、ものすごく大きいのびるもありました。すごく楽しくて自然がいっぱいでした。

(H)

